

なかよし・けんこう・どいよく
天見小校長室だより 10月号 令和5年9月29日
天見小学校

人の温かみを感じられる学校 みんなで笑顔と元気を作り出せる学校

やっと、秋の涼しさ、心地よさを感じることができるようになってきました。エアコンをつけなくて過ごせるこの時期は、本当に気持ち良く、外の空気を思いっきり吸いたくなります。

運動会の練習が始まりました。子どもたち、団体演技の練習から頑張っています。秋の訪れを感じたとはいうものの、まだまだ暑い日もあり、学校でも水分補給をして熱中症には十分気をつけながら授業を進めていきますが、お家でも水分補給や睡眠時間、朝食等をしっかりとるようにと、再度お子様にはお伝えください。よろしく願いいたします。

中秋の名月…今年は9月29日、今日です。

今年の「中秋の名月」は、今日、9月29日です。この時期は空気が冷たくなり、秋晴れが続く空も高く見え、夜に見える月もきれいにみえることからこの頃にあがる月を「中秋の名月」といいます。

日本では、1200年も前の平安の時代から、月を眺めながらお酒を飲んだり、庭の池に舟を浮かべて和歌を歌ったり、管弦（音楽）を楽しんだりする「お月見」という習慣があったそうです。

お月見には、月にお供え物をしていました。今日の給食にも出ましたが、お月見団子やススキです。お月様と同じ形のお月見団子を食べると健康と幸せが得られるという言い伝えがあり、「十五夜」にちなんで15個のお団子をお供えするそうです。そしてススキは、今年もどうぞ豊作でありますように、皆が元気でありますようにという願いを込めて稲穂の代わりにお供えし、魔除けにもなっていたそうです。また、十五夜を「芋名月」と言って、イモ類の収穫を祝う行事でもあり、収穫したての野菜や果物を一緒に供えたそうです。

昔はお供え物を近所の子どもたちが勝手にとって食べてもいい風習があったそうで、さながらハロウィンの日本版だと思いました。

さて、月の出る日、月の呼び名が変わることをご存じですか。十五夜満月は、日が暮れる夕方6時頃東の空から姿を見せ、明け方に西の空に沈みます。この日から月はだんだん細く欠けていき、月が東の空に姿を見せる時間も50分ずつ遅くなるそうです。

なので、十六日目の月を「十六夜」と書いて「いざよい」といいます。「いざよう」という言葉を、辞書で調べてみると「ためらう」という意味でした。月が満月の時よりも50分遅く姿を見せることに「月が出てくるのをいざよって（ためらって）いるみたいだ」というところから「十六夜」と書いて「いざよい」というそうです。同じように「十七夜」ではさらに50分遅くなるので、月はまだ



出ないのかと立って待っている姿から「立待月」、「十八夜」は、立って月が出てくるのを待っていると、待ちくたびれて座ってしまうことから「居待月」、十九日目の月は座って待つのもくたびれて寝て待つことから、「寝待月」、20日目には夜更けにならないと月は出てこなくなるので、「更待月」というそうです。また、26日目には明け方にしか月は姿を見せないで「有明月」という言葉があります。月の出る時刻にさえ、素敵な呼び名があり、風流だと思いました。日本人の粋な言葉の使い方が現代まで残っていて、その意味を知った時、妙に「なるほど!」と感嘆してしまうのは私だけでしょうか。このお話は私が大学生の時に学校の屋上から月を見ていて、国語の先生が教えてくださったお話です。ぜひ、古来から残る素敵な言葉や、日本の文化を大切にしたいものです。

2学期も絶好調！子どもたちは、いろんな体験しています。

3年生・・・富田林小学校との交流授業

9月19日、いつもリモートなどで、交流している富田林小学校の子どもたちが天見小学校に来てくれました。一学期に富田林の寺内町を案内してくれた富小のみんなに、今度は天見の良さを天見小学校の子どもたちが案内しました。八幡神社で、樹齢400年の大イチョウや水やり場などをオリエンテーリングで案内し、川遊びをしたり虫取りをしたりその日は一日、盛り沢山の楽しい一日でした。富田林小学校の3年生は全員で64名。たくさんの人を目の前にしても、子どもたちの名案内はなかなかしっかりしてお見事でした。お手伝いに来てくださった保護者のみなさま、地域の草刈りをしてくださったみなさま、ありがとうございました。

4・5年生・・・防災訓練発表

9月13日全校朝会で、4・5年生が、防災訓練に先駆けて防災について自分たちの調べたことを発表してくれました。大人が子どもたちに教える防災も大切ですが、子どもたちの同じ目線で全校児童に向けて話してくれたのは、とても有意義だと思いました。防災訓練の日、高学年が低学年を連れてクラスごとに並べていた姿に感動しました。



5年生・・・稲刈り体験



9月11日、5年生は坂元家の田んぼをお借りし、田植えさせていただいた稲を稲刈りさせていただきました。田植えした時にはあんなに小さかった苗が、4か月で稲穂が垂れるほど大きく育ち、一束の重さもずいぶん違っていました。子どもたちは黙々とがんばり全ての稲を刈り、脱穀してもらいました。このお米を乾燥させて、収穫祭でご飯を炊いて坂元さんたちをお招きする予定です。

1・2年生・・・川遊び

小雨模様の日でした。一学期の様子から、子どもたちは、「今日は入れないよね。」と話していましたが、川の流れや濁りもなかったことから、21日に入ることができました。一学期には水中昆虫や、生き物を捕獲して観察しましたが、今回は川の流れるを感じるために、発泡スチロールで舟をつくり、それを流して遊びました。流れていく舟を見て、改めて川の流れるを感じていたようでした。